いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報いずみ 第52号

発行／いずみ会　編集／いずみ会広報部
〒178-0063　東京都練馬区東大泉 5-3-1 都立大泉高等学校内
事務所　　東京都練馬区東大泉 6-34-30 SKビル305号
ホームページ　http://www.izumikai.com　e-Mail　izumikai@v7.com

主な記事

2～4　執行部関係
5・6　母校関係
7　恩師近況
8・9　緑蔭
10～13　同期会
14・15　会費納入者一覧
16　総会ご案内・お知らせ

新任のご挨拶　いずみ会会長　早川　淳

この度、歴史と伝統ある「いずみ会」会長の大役をお引き受けすることになりました。先輩達が限りない情熱を注ぎ、幾多の困難を乗り越えて、今日のいずみ会を創ってくださったことを胸にきざみ、歴代会長の手腕にはとても及びませんが、いずみ会の目的である「いずみ会規約」第３条、会員相互の親睦と母校発展のため微力ではありますが全力を尽くす覚悟であります。

いずみ会は戦時中の昭和20年４月１日に設立されて63年を迎え、昭和16年４月１日創立の府立第20中学校より大泉を巣立った卒業生は23000余名を超えます。社会に出て各界で活躍している方、一方でまたリタイアされた方も多くなりました。今、いずみ会では「いずみ会人材バンク」を活用し、それぞれの特技を生かした趣味の講座が歩き始めております。人生80年の時代に先輩後輩が分け隔てなく「いずみ会」に集い、「日本古典文学講座」「まんぼ会」「健康麻雀教室」など多くのサークル活動が行なわれるようになりました。

また、いずみ会では人材バンクに登録して頂いた同窓生が講師となり、講演など出来る体制も整いつつあります。母校に対する人的支援の一環としてキャリア教育への対応も実現へ向けて検討してまいります。

時代は少子高齢化などによる高校の統廃合なども進んでいます。多感な青春時代を過ごした母校も平成22年度には中高一貫教育校になることが予定されております。このような情勢の中で部活動、体育祭、文化祭がいままでのように行なうことができるかとの不安もあり、母校に対する支援活動は大いに重要な意味を持つものと思われます。大泉高等学校の「文武両道の精神」に則り、学校と協議・協力して部活動なども支援していきたいと思います。

21世紀となり、社会の構造や情勢がめまぐるしく変化している中で、我々自身も変わらなければならず、「いずみ会」自体も変わっていくべきであります。

本日、新しい執行部が誕生しましたので、理事の皆さんの英知を結集して諸問題を慎重に諮りながら前進して参ります。

新任のいずみ会最高顧問である菊地芳男大泉高校校長先生を始め教職員の皆さん、PTA の役員の皆さんとも協議しながら、母校のために努力して参ります。

いずみ会活動・運営に対し会員皆様の一層深いご理解とご協力・ご支援をお願い致します。

新役員紹介

６月７日の評議員会において役員候補者全員が承認されました。早川会長以下新体制が、いずみ会の更なる前進目指して始動いたします。会員の皆様、ご協力よろしくお願いいたします。ご意見ご希望等どしどしお寄せ下さい。

新役員

会長	早川　淳（高13期）
副会長	有田二郎（高６期）、高津幸一（高13期）、中川徹夫（高15期）
事務局長	大髙光蔵（高13期）
総務・企画部長	國谷俊之（高14期）
会計部長	片山　隆（高８期）
広報部長	須藤一彦（高９期）
会員情報部長	村上　広（高15期）
理事	村井和郎（高６期）、三島英雄（高７期）、関根強一（高11期）、荒井亮三（高12期）、布施百合子（高14期）、中江和夫（高17期）、青木　隆（高18期）、荒井真理子（高20期）
監査役	大澤　登（高５期）、松岡五郎（高５期）、真田宗興（高11期）
最高顧問	菊地芳男（大泉高校校長）

前会長　石井岱三氏　「旭日双光章」受章

石井岱三氏の社会福祉に対する功労が顕著であることが認められ、この春の叙勲で「旭日双光章」が贈られました。ちなみに、この章の受章者は全国で490名です。

本年度
いずみ会総会・懇親会（於　母校円形校舎・練馬区立勤労福祉会館）
10月26日（日）午後１時より受付開始（詳細は16頁をご覧下さい。）

評議員会報告　総務・企画部長　國谷　俊之（高校14期）

平成20年６月７日（土）13時より母校・円形校舎１階・食堂にて、平成20年度定時評議員会が開催されました。

評議員94名（他に委任状提出者294名）、一般会員６名が出席しました。

司会の大高光蔵総務企画部長（高13期）から開会が宣せられ、議事に先立ち、石井岱三会長病気療養中のため、杉山　肇副会長が会長に代わり挨拶をしました。次に本年４月から赴任した菊地芳男校長のご挨拶があり、母校は平成22年度から始まる、中高一貫校化を進めるなかで校舎の改築工事が行われ、１号棟、２号棟、３号棟は改築し、４号棟と体育館は大改修との予定であると、お話をされた。

議長に中江和夫評議員（高校17期）を選出し、引き続き議事録署名人（田島氏・高10期、野島氏・高28期）が選任されて議事に入りました。

［審議事項］

第１号議案　平成19年度事業報告及び収支決算承認の件（有田事務局長及び杉山　肇副会長・会計部長代行が趣旨説明）は賛成多数で承認されました。

第２号議案　平成20年度事業計画及び予算案承認の件（有田事務局長及び杉山　肇副会長・会計部長代行が趣旨説明）は賛成多数で承認されました。

第３号議案　いずみ会役員選挙の件（会長１名、副会長３名、理事13名、監査役３名の候補者）が承認されました。

第４号議案　石井岱三前会長を顧問に推挙する件。大場修一評議員（高校16期）から石井前会長を顧問に推挙するという、緊急動議が提出され満場一致で承認されました。

［報告事項］

1. 総務・企画部（大高光蔵部長）
   1）毎年評議員の見直し登録を実施しているが、約３分の１の期は取り纏め役が不在であるので、あらためて取り纏め役を決めてもらう予定である。
   2）人材バンクのサークル活動が盛況で、各部の事務局幹事が手不足の状況にあるので事務局幹事を募集している。
2. 広報部（須藤一彦部長）
   1）今年の会報から、若干文字を大きくする。
   2）会報の内容に対する希望があれば連絡願いたい。
3. 会員情報部（村上　広部長）
   1）今年は海外在住の会員へコンタクトをとり、ホームページのPR等行う。
   2）ホームページへ会報を掲載しているが、14号以前のものをお持ちの方がいたら借用したい。
4. 会計部（杉山副会長）
   ここ数年、決算報告は黒字になっているがいずみ会活動を余裕を持って展開するには、今年度も財政改善策を検討していかなければならないので、皆様のお知恵をいただきたい。
5. ８の会（新８の会　片山　隆会長）
   秋の総会後の懇親会をどんなテーマで展開するか検討しているが、①昭和45年、日本で初めてエベレスト登頂に成功した、植村隊に密着していたカメラマンの竪野正三氏（８期）が撮影した映像をながしたり、②18期生の「六大陸バイクで爆走」の記録などを考えており、昨年以上に大勢の参集を期待しています。

以上で議事等が終了し、高津幸一新副会長・閉会の辞で、定時評議員会が終了しました。このあと、会費制の懇親会に移りました。

尚、審議、報告事項の他に、母校の女子バスケット部が関東大会に出場することになり、母校支援の一環として募金を評議員にお願いしたところ、66,561円の募金が集まりました。

平成19年度　いずみ会事業報告

いずみ会は、規約及び平成19年度事業計画に基づき、次の事業を行った。

第１．総会の開催

平成19年10月28日（日）練馬区立勤労福祉会館大集会室にて開催した。

前半の総会は理事会による進行で、いずみ会の平成18年度事業報告・会計報告と、平成19年度事業計画・収支予算等が報告された。後半の懇親会は同じ場所で「新７の会」の企画で“楽しさ７倍、7の会”をスローガンとし、“Always ７丁目の夕日”をテーマに「歌声喫茶」が開設され、総勢約220名の出席者で盛り上がった。

第２．会報の発行・広報活動の充実

１．会報いずみ51号を平成19年10月１日に発行した。主な記事は次のとおり。
- 母校の中高一貫校化へ向けて、現在の中高一貫教育校の現状
- 平成19年度評議員会の報告
- 平成18年度事業・収支決算報告と平成19年度事業計画・予算
- 役員改選の公示
- 会員情報（同期会情報等）・母校関連情報

２．ホームページの刷新
- 会報バックナンバー［34号（平成４年）～50号（平成19年）］を掲載した。
- 会員の関心が強い会合情報（同期会、クラス会、イベント情報、サークル活動）を最初に表示するように編集した。
- 同期会の開催通知やその報告が多数寄せられるようになった。

第３．会員情報の更なる整備

１．会員の住所等の把握のため、期の幹事を集めた部会を１回開催し、会員情報の把握に努力した。平成19年度の住所データの推移は以下のとおりとなった。
- 会報が返送され転居先等の住所不明者……405名
（なお、会報の送付数は約17,000通）
- 住所変更届け、期の幹事からの連絡などによる住所判明者……344名
- 60期生の会員登録数……279名
- 60期生の住所等未登録数……２名

第４．将来に向けての運営体制の拡充

１．会運営のIT化推進
現在は、複数会員の間で分散管理されているいずみ会データを、一元化して管理することを主たる目的としてIT化を推進してきた。
会員住所のデータ管理に関しては統一基準を作成した。データを一元化する方法について２～３の方法を検討したが、会員情報のデータと会計データを一元化する方法を検討するためには、専任の担当者を置き、作業に従事する人の能力などを考慮してその方法を検討する必要があり、来年度以降に継続することとした。

第５．母校との連携

１．平成19年９月16・17日母校の文化祭に参加し、「いずみの広場」において「Always ７丁目の夕日」のイメージで雰囲気を作り、在校生並びに保護者等との交流を図った。
２．平成20年３月13日卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催した。
３．校長先生はじめ母校教職員、PTA関係者に働きかけ入会金の納入の促進に努めた。
４．母校の中高一貫校問題では、担当の理事がフォローした。

第６．人材バンクの活性化

１．健康麻雀教室、囲碁同好会の参加者が急増、いずみ会室は連日超満員の状況である。
２．大軒史子氏（高校９期）による、日本古典文学講座は「今昔物語集」の講座に継続した。
３．野外運動としての「まんぼ会」は11月にスタートして以来、好評のうちに第３回が「世界の教会を見る」というテーマで開催され、27名が参加した。

第７．財政管理

１．平成19年度は単年度収支で赤字の予算を承認頂いたが、会員皆様のご協力と各役員の努力もあって、約70万円の黒字化に成功した。
２．財政改善対策については、プロジェクトチームを作り検討したが、結論を得ることが出来ず、来年度引き続き検討することとした。

第８．評議員会の開催

１．定時評議員会を、平成19年６月９日に母校にて開催し、評議員94名が出席した。
２．「平成18年度事業報告と収支決算」並びに「平成19年度事業計画と予算」が承認された。

第９．その他の事業

いずみ会の活動を推進するため、平成19年度の評議員会から平成20年度の評議員会までの間次の事業を行った。
１．理事会の開催（10回開催）
２．監査会の開催（中間監査と期末監査の２回開催）
３．役員改選に向けての準備作業
４．各期評議員の登録更新

《高校60期　評議員一覧》（敬称略）

１組	河原　涼太、大西　茉莉奈	
２組	石川　祐大、大沢　晴子	
３組	慶徳　大介、小坂　亜佐実	
４組	永野　拓馬、松崎　香奈	
５組	山岸　史弥、茅野　雅子	
６組	松田　全弘、飯田　怜子	
７組	須藤　隆夫、高比良　千晶	

平成20年度　いずみ会事業計画

いずみ会は、規約に沿って、平成20年度に次の事業を実施する。

第１．総会の開催

平成20年10月26日（日）に開催する。

前半は、いずみ会の活動や母校関連事項の報告、後半は「８の会」の企画・運営による懇親会を行う。

第２．会報の発行・広報活動の充実

１．会報いずみ第52号を平成20年10月１日に発行予定とする。主たる記事は次のとおり。
- 平成19年度事業・会計報告と平成20年度事業計画・予算
- いずみ会行事報告
- 会員情報（同期会情報等）
- 新役員の紹介
- 母校関連情報

２．ホームページの充実
- 会報のバックナンバー［15号～22号（23号～33号は欠番）］を10月に掲載予定。
その際は、Webの容量の関係で、34号～46号は削除するが、CDの貸し出しは行う。
- 同期会の開催などのイベント情報を積極的に掲載する。

第３．会員情報の整備

１．会員情報の整備に向け、各期会員情報部幹事との会合を２回実施する。
２．「高校61期」の名簿を作成し、61期の入会者に配布する。
３．昨年は未達に終わった海外会員へのホームページ紹介のハガキを送付し、海外在住の会員情報の把握に努める。

第４．将来に向けての運営体制の拡充

１．近隣高校の同窓会との連携を強化し、母校教職員及びPTAとの繋がりを更に深める。
２．人材バンクをいずみ会活性化の源泉と位置づけ、更なる発展を期する。
３．各部の事務局幹事の充実を図り、次世代へのスムーズな移行を目指す。

第５．母校との連携

１．母校の発展に寄与するため、キャリア教育その他の学校の諸活動や、運動部、文化部の諸活動に対する支援を積極的に行う。
２．平成21年３月12日（木）予定の卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催する。
３．平成20年９月14日（日）～15日（月）予定の母校文化祭に参加し、「いずみの広場」においていずみ会のPRをすると共に、在校生並びに保護者との交流を図る。
４．新入会員の加入に際し各種の協力を依頼する。
５．中高一貫校化に向けての学校内の整備に協力すると共に、本会の資料等の保存を働きかける。

第６．人材バンクの活性化

１．現在の「健康麻雀教室」「囲碁同好会」「日本古典文学講座」「まんぼ会」を継続推進する。
２．昨年は会員提案の「ナポレオンクラブ」を試行したが、多様化するニーズに対応する提案を期待し、更なる会員交流の輪を広げたいと考えている。
３．登録されたメンバーの整理と活用を、母校の要望をくみ取りながら、検討・推進する。

第７．財政管理

１．会の財政を改善するため、中長期に亘る収入の安定化を検討する。
（会費年額、終身会費制の検討、収納手段の多様化、会費管理システムの見直し等）
２．会費納入率向上対策の検討

第８．評議員会の開催

いずみ会の最高議決機関である評議員会を平成20年６月７日（土）に母校にて開催する。

第９．その他の事業

１．理事会の開催
２．監査会の開催
３．各期評議員の登録更新作業

◇評議員会出席者一覧◇

【中１期】猪股麒一郎、藤井宏　【高２期】石川宜、稲村啓、高橋宏、武見健三、山本勲【高３期】長谷川浩吉、山岡竹三郎　【高４期】加羽沢暉幸、仁科和雄、橋本宏、古田寛昭　【高５期】大澤登、桶田敏正、鳴正彦、松岡五郎、松坂清、石田要久　【高６期】有田二郎、今村邦夫、杉山肇、遠畑啓、豊嶋志郎、西多英治、村井和郎、神田計子、舛巴淳子、高取都　【高７期】大野和美、三島英雄　【高８期】新井正晴、茂木光男、片山隆、小熊坂満邦、藤井元孝　【高９期】須藤一彦、高木博明、大軒史子、安藤幹男　【高10期】保延義夫、長島慶子、野口悦子、田島寛、藤田肇、小川皓司、鈴木京子　【高11期】峯澤勝雄、富田順子【高12期】荒井亮三、一条紘一、矢田部禎男、相川光夫、板橋昭寿、高桑泉、寺岡雅子、土川ツヤ子【高13期】丸山和郎、早川淳、小松富貴子、市川敬二、大高光蔵、高津幸一、戸田一誠、佐藤克子【高14期】杉山充、増岡建吾、布施百合子、國谷俊之、三原寿太、大串康夫、篠原庸雄、武田英晴　【高15期】中川徹夫、村上広【高16期】大場修一　【高17期】中津隈健一、中江和夫　【高18期】杉山明美、青木隆　【高19期】小山雅文、三原千砂子　【高20期】菊池素子、川口章子【高23期】萩原正敏【高24期】真柳仁　【高25期】吉田寛、剣持孝吉、會田幸子　【高27期】飯田良弘、竹林悦子【高28期】野島陽子【高29期】斎藤俊夫【高31期】高瀬浩和

平成19年度　収支決算

（自平成19年4月1日～至平成20年3月31日）

(収入の部)　　単位：円

科　目	平成19年度予算	平成19年度実績(A)	予算過不足((A)-予算)	備　考
入会金	895,000	930,000	35,000	
前受金戻入	855,000	855,000	0	
当期入金分	40,000	75,000	35,000	
会　費	2,829,000	2,845,000	16,000	
前受金戻入	2,329,000	2,329,000	0	
当期入金分	500,000	516,000	16,000	
寄付金	700,000	716,000	16,000	
総会参加費	450,000	629,000	179,000	
名簿関係収入	60,000	243,000	183,000	
名簿売上	60,000	243,000	183,000	
雑収入	60,000	64,098	4,098	受取り利息
合　計	4,994,000	5,427,098	433,098	
前受金	3,400,000	3,666,000	266,000	
入会金	1,000,000	965,000	△35,000	
会　費	2,400,000	2,701,000	301,000	
前期繰越金	3,392,744	3,392,744	0	
総合計	11,786,744	12,485,842	699,098	

(支出の部)　　単位：円

科　目	平成19年度予算	平成19年度実績(A)	予算残(予算-(A))	備　考
総会関連費	580,000	434,026	145,974	
開催費	450,000	340,789	109,211	
準備費	130,000	93,237	36,763	
役員・評議員会合費	455,000	280,003	174,997	
評議員会開催費	250,000	192,283	57,717	
理事会・委員会費	105,000	59,509	45,491	
総務・企画活動費	100,000	28,211	71,789	
監査役会費	10,000	4,097	5,903	
広報費	2,995,000	2,634,977	360,023	
会報印刷関連費	650,000	659,117	△9,117	
会報発送関連費	1,800,000	1,509,654	290,346	
封筒作成費	250,000	256,100	△6,100	
振込用紙印刷費	145,000	136,020	8,980	
ホームページ関連費	120,000	56,532	63,468	
広報部活動費	30,000	17,554	12,446	
会費関連費	150,000	110,274	39,726	
口座振替手数料	120,000	99,080	20,920	
会計部活動費	30,000	11,194	18,806	
名簿関連費	160,000	89,652	70,348	
新入会員名簿作成費	30,000	15,000	15,000	
名簿発送費	10,000	35,485	△25,485	
会員情報部活動費	120,000	39,167	80,833	
母校連絡費	50,000	38,779	11,221	
会員活性費	50,000	61,986	△11,986	
消耗品費	30,000	47,600	△17,600	
什器備品等	20,000	3,800	16,200	
ハード（パソコン）	20,000	3,800	16,200	
ソフト（パソコン）	0	0	0	
いずみ会室関連費	1,055,000	807,244	247,756	
名簿積立金繰入	200,000	200,000	0	
業務委託費	0	0	0	
雑　費	30,000	12,980	17,020	
予備費	100,000	0	100,000	
合　計	5,885,000	4,725,418	1,159,582	
積立金繰入	3,200,000	3,666,000	△466,000	
前受入会金	1,000,000	965,000	35,000	
前受会費	2,200,000	2,701,000	△501,000	
総合計	9,085,000	8,391,418	693,582	

(収支の部)　　単位：円

項　目	平成19年度予算	平成19年度実績
当期収入	4,994,000	5,427,098
当期支出	5,885,000	4,725,418
当期収支残	△891,000	701,680
前期繰越金	3,392,744	3,392,744
期末剰余金	2,501,744	4,094,424

貸借対照表

（平成20年3月31日現在）

単位：円

（資　産）				（負　債）			
科　目	2007.3.31現在	2008.3.31現在	増減	科　目	2007.3.31現在	2008.3.31現在	増減
定期預金	21,001,000	25,042,097	4,041,097	前受入会金	855,000	965,000	110,000
				前受会費	13,308,000	13,680,000	372,000
普通預金	11,399,322	10,466,124	△933,198	名簿積立金	2,066,008	2,266,008	200,000
				負債合計	16,229,008	16,911,008	682,000
振替口座	2,169,251	316,171	△1,853,080	正味財産			
				別途積立金	15,000,000	15,000,000	0
現　金	52,179	181,040	128,861	期末剰余金	3,392,744	4,094,424	701,680
				正味財産計	18,392,744	19,094,424	701,680
合　計	34,621,752	36,005,432	1,383,680	合　計	34,621,752	36,005,432	1,383,680

預金残高	定期預金	普通預金	振替口座
三菱　橋本	15,030,064	1,120,196	
みずほ　橋本	10,012,033	4,530,033	
りそな　橋本		1,004,653	
郵政公社	0	1,001,505	316,171
みずほ　沼袋		2,809,737	
合　計	25,042,097	10,466,124	316,171

前受会費詳細	
前年度残	13,308,000
今年度繰入	△2,329,000
今年度入金	2,701,000
差引残	13,680,000

平成20年度　収支予算

（自平成20年4月1日～至平成21年3月31日）

(収入の部)　　単位：円

科　目	平成19年度予算	平成19年度実績(A)	平成20年度予算	(H20予算-H19実績)	備　考
入会金	895,000	930,000	1,015,000	85,000	
前受金戻入	855,000	855,000	965,000	110,000	
当期入金分	40,000	75,000	50,000	△25,000	
会　費	2,829,000	2,845,000	2,862,000	17,000	
前受金戻入	2,329,000	2,329,000	2,362,000	33,000	
当期入金分	500,000	516,000	500,000	△16,000	
寄付金	700,000	716,000	700,000	△16,000	
総会参加費	450,000	629,000	450,000	△179,000	
名簿関係収入	60,000	243,000	30,000	△213,000	
名簿売上	60,000	243,000	30,000	△213,000	
雑収入	60,000	64,098	75,000	10,902	受取り利息
合　計	4,994,000	5,427,098	5,132,000	△295,098	
前受金	3,400,000	3,666,000	3,700,000	34,000	
入会金	1,000,000	965,000	1,000,000	35,000	
会　費	2,400,000	2,701,000	2,700,000	△1,000	
前期繰越金	3,392,744	3,392,744	4,094,424	701,680	
総合計	11,786,744	12,485,842	12,926,424	440,582	

(支出の部)　　単位：円

科　目	平成19年度予算	平成19年度実績(A)	平成20年度予算	(H20予算-H19実績)	備　考
総会関連費	580,000	434,026	560,000	125,974	
開催費	450,000	340,789	450,000	109,211	
準備費	130,000	93,237	110,000	16,763	
役員・評議員会合費	455,000	280,003	360,000	79,997	
評議員会開催費	250,000	192,283	230,000	37,717	
理事会・委員会費	105,000	59,509	100,000	40,491	
総務・企画活動費	100,000	28,211	30,000	1,789	
監査役会費	10,000	4,097	10,000	5,903	
広報費	2,995,000	2,634,977	2,795,000	160,023	
会報印刷関連費	650,000	659,117	680,000	20,883	
会報発送関連費	1,800,000	1,509,654	1,650,000	140,346	
封筒作成費	250,000	256,100	270,000	13,900	
振込用紙印刷費	145,000	136,020	140,000	3,980	
ホームページ関連費	120,000	56,532	30,000	△26,532	
広報部活動費	30,000	17,554	25,000	7,446	
会費関連費	150,000	110,274	115,000	4,726	
口座振替手数料	120,000	99,080	100,000	920	
会計部活動費	30,000	11,194	15,000	3,806	
名簿関連費	160,000	89,652	120,000	30,348	
新入会員名簿作成費	30,000	15,000	15,000	0	
名簿発送費	10,000	35,485	15,000	△20,485	
会員情報部活動費	120,000	39,167	90,000	50,833	
母校連絡費	50,000	38,779	50,000	11,221	
会員活性費	50,000	61,986	100,000	38,014	
消耗品費	30,000	47,600	30,000	△17,600	
什器備品等	20,000	3,800	20,000	16,200	
ハード（パソコン）	20,000	3,800	0	△3,800	
ソフト（パソコン）	0	0	0	0	
いずみ会室関連費	1,055,000	807,244	840,000	32,756	
名簿積立金繰入	200,000	200,000	0	△200,000	
業務委託費	0	0	0	0	
雑　費	30,000	12,980	25,000	12,020	
予備費	100,000	0	100,000	100,000	
合　計	5,885,000	4,725,418	5,125,000	399,582	
積立金繰入	3,200,000	3,666,000	3,700,000	34,000	
前受入会金	1,000,000	965,000	1,000,000	35,000	
前受会費	2,200,000	2,701,000	2,700,000	△1,000	
総合計	9,085,000	8,391,418	8,825,000	433,582	

(収支の部)　　単位：円

項　目	平成19年度実績	平成20年度予算
当期収入	5,427,098	5,132,000
当期支出	4,725,418	5,125,000
当期収支残	701,680	7,000
前期繰越金	3,392,744	4,094,424
期末剰余金	4,094,424	4,101,424

附帯事項　いずみ会規約第3条「本会は会員相互の親睦を図り、併せて母校の発展に寄与することを目的にする。」に基づき

1母校支援活動準備金を設定する。限度額は100万円とする。

2「平成20年度　いずみ会事業計画　第5　母校との連携」の指針に従い、実施の詳細は理事会で決定する。

3母校支援活動準備金の原資は、別途積立金若しくは剰余金を引き当てる。

以上

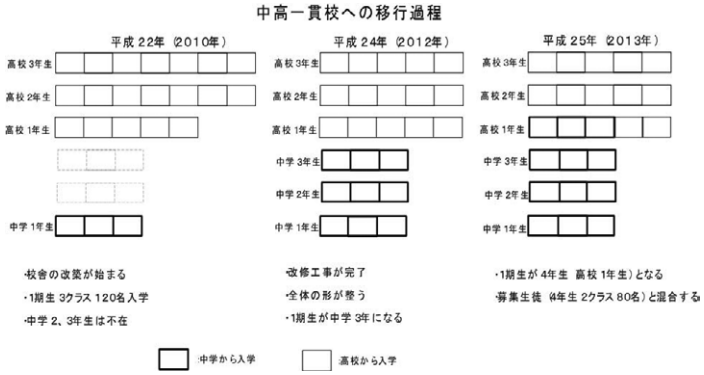
平成20年度
定時評議員会

中高一貫校について

母校担当副会長　中川　徹夫

平成22年より母校「東京都立大泉高校」が中高一貫校に移行し、以後新しい制度の下で歴史を築いてゆくことになります。我々 OB 始め、現役の諸君達も将来の OB として、後輩達がどう松明を引き継いでくれるか、関心がお有りかと思います。

下図のように平成22年に新制度の第１期生、３クラス120人が入学します。この生徒達が新制度の下、どんな成長を遂げ、どんな成果を発揮してくれるかは、６年後判明します。



ちょうど同じ年に校舎の改修が始まり、工事は２年続きますのでこの間何かと慌しいでしょうが、「文武両道の精神」を受け継いで、新制度の優れた教育システムや指導により、各生徒たち個々の「志」を達成して欲しいと願っています。もちろん OB 他、地域、保護者の皆様も同じ思いでおられることでしょう。

３年後の平成24年には中１年生から高３年生まで、クラス数、生徒数の形が出来上がりますが、併設校の特色である、高１年生３クラスと外部からの応募２クラスが合体するのが翌平成25年です。ここで初めての切磋琢磨が期待されます。

‘歌声は楽しく！’

新７の会会長　山田　清子（高７期）

“楽しさ７倍７の会”のタイトルのもと、すばらしい青空に恵まれた昨年10月28日、練馬区立勤労福祉会館に於いて、いずみ会の懇親会が開かれました。200名を越す参加者に「７の会」のメンバーはじめ関係者は、料理・飲み物の手配、会場の配置等、当初の予定より大幅に変更するという操作に大変嬉しい思いをしました。

４月から半年間、７倍の楽しさを作るための企画を色々考えました。そして、歌声喫茶「ALWAYS ７丁目」を開店したのです。“歌は世につれ、世は歌につれ…”ピアノ伴奏に加えて、マラカス等の応援も得て、懐かしい青春時代の歌の数々、最近人気の「千の風…」等、ビール・ワイングラスを片手に、みな一生懸命歌って下さいました。一方では、石井会長の提供による日本酒と「味三昧」の美味しい料理に舌鼓をうちながら、楽しげに歓談しているグループも見られました。

「７の会」のメンバーはすばらしい才能を持っておられます。またそれを応援して下さる方々の気持ちよい協力に大いに助けられ、またいずみ会の理事の方々もこまかいデーターをすばやく提供してくださいました。心より感謝しています。

今年の「８の会」はもっと素晴らしい会を催してくださると期待しています。

なお先日、石井会長のお身体がすぐれないとお聞きしました。一日も早いご快癒を祈っています。

舞台は地球 “それぞれの地球の歩き方”
ぱち ぱち パチリの８の会

新８の会会長　片山　隆（高８期）

今年の懇親会は卒業期に８のつく「新８の会」が担当します。昨年の懇親会で、いずみ会旗が「新７の会」から石井会長を介して「新８の会」に引き継がれました。年が明けて２月16日第１回準備会が発足。同窓会の基本は会員同士の懇親が中心であり、これを最大限尊重するという立場は従来と変わらず、そのうえで会の発展のためには大勢の参加を得て、皆さんに満足してもらうことが次に繋がることを認識し、テーマについては数回の打ち合わせを重ねました。今年はサミットも環境問題が主題となり、何かと地球が注目を集めています。そこで、海外を走り回ったり、撮り歩いたりしている方を探し出し、映像、写真でその足取りを辿って、懇談の輪をつくりたいと考えました。

このところ、オリンピック聖火が登頂したり、三浦雄一郎氏が75歳で登頂したりして、エベレストが、何かと話題になっています。先ず、これに注目し、昭和45年度植村直己氏による日本最初のエベレスト登頂記録映像「エベレストへの道」を撮影した竪野正三氏(高８期）に映写と解説をお願いしました。又、高18期の賀曾利氏はバイクで、世界を走り回り、本もたくさん書かれています。本人のインタビューをまじえて映写し、関連グッズの展示なども考えています。その他、会員が歩いている海外の珍しいところ、面白いところなどをスライドあるいは写真などで紹介します。

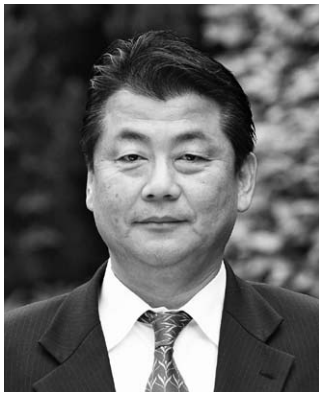
竪野氏は他にもアマゾン川の逆流（ポロロッカ）と並び称される中国銭塘江の逆流（大海嘯）の映像もお持ちで、これも、懇親会場で映写いたします。食べ物、飲み物は例年以上に用意します。いずみ会会員の皆様、お誘い合わせの上、大勢の方々の参加を、お待ちしています。

文化祭参加報告

総務・企画部長　國谷　俊之（高14期）

平成19年９月16・17日母校の文化祭に参加しました。７の会の応援を得て、「いずみの広場」において「Always ７丁目の夕日」のイメージで雰囲気を作り、在校生並びに保護者等との交流を図り、大変な反響を呼びました。特筆すべきは、中高一貫校を見据えて、大泉高校に入学を希望する小中学生とその父兄が多く訪れ、熱心に見学されたことでした。

着任のご挨拶（菊地　芳男校長）



今年度４月に校長として就任いたしました菊地です。

前年度は、教育庁人事部に勤務していました。６年ぶりに学校に復帰となりましたが、新鮮な気持ちで大泉高校での毎日を過ごしています。

大泉高校は、都民から寄せられる期待が高く、中学生や地域の方々から親しまれている学校であり、良き伝統を継承し、活発な教育活動を展開していることにつきましては、教育庁に勤めていたときからも知っていました。

しかし、今年度実施した体育祭に保護者の75％の方々が来校し、生徒の競技に取り組む姿を応援する等、学校の教育活動に対する関心の高さには認識を新たにした面もあります。

このような学校であるからこそ、東京都が中高一貫教育校の母体校として大泉高校を選んだと考えております。

また、いずみ会の方々が、母校への思い出だけでなく、現在の大泉の生徒及びこれから入学してくる生徒たちの活躍と期待が溢れていることも知ることができました。

長い歴史の中で、大泉高校にとってこれから数年は激変の時代を迎えることと思いますが、今後ともご支援をお願いいたします。

教職員人事異動

「転出・退職」（　）内は転出先等

校　　長　小林　洋司（東部学校経営支援センター）
国　　語　桜井　俊之（城東）　国　　語　服部　真弓（稔ケ丘）
地歴公民　石原　美之（翔陽）
数　　学　芦田　浩敏（井草）　数　　学　林　　康夫（小平南）
数　　学　山下　康弘（農芸）副校長
保健体育　片桐　一弘（退職）　保健体育　渕上奈美子（稔ケ丘）
外 国 語　大川真理子（日比谷）　外 国 語　坂本　恵司（新宿山吹）
家 庭 科　立川　仁美（大山）　養　　護　比賀眞由美（武蔵）

「転入・採用」（　）内は前任校等

校　　長　菊地　芳男（教育庁人事部）
国　　語　野村　　元（四谷商業）国　　語　伊東　　真（新規採用）
地歴公民　福崎　勇二（竹早）
数　　学　福島　　完（新規採用）数　　学　富田康次郎（神代）
数　　学　三井　千宏（西）
保健体育　山口　　巌（大島南）　保健体育　新堀　陽子（石神井）
外 国 語　岡部　哲也（武蔵）　外 国 語　中西　美之（田柄）
家 庭 科　八木有里子（三宅）
養　　護　青木佐知子（練馬区立大泉第二小）
中高一貫校開設準備室
副 校 長　渡辺　政彦（立川市立立川第三中）
保健体育　清水　智之（井草）
外 国 語　大屋　　剛（練馬区立関中）
理　　科　田口　弘子（江戸川区立葛西第三中）

進路状況（浪人生を含む）

「国公立大学」
東北１、山形１、筑波１、埼玉４、電気通信３、東京学芸３、東京芸術１、東京工業１、東京農工２、金沢１、首都大学東京７、滋賀県立１、防衛大学校１

「私立大学」
青山学院11、学習院17、慶応義塾３、芝浦工業８、上智15、成蹊20、成城６、専修11、中央40、津田塾１、東京女子10、東京電機９、東京農業６、東京理科19、東洋31、獨協５、日本54、日本女子５、法政46、武蔵46、明治54、明治学院９、明治薬科４、立教54、早稲田50、その他132

吹奏楽部はガンバッテいます!!

私たち吹奏楽部は、現在１年生35名、２年生30名、３年生24名の総勢89名で活動しています。練習は月～土まであり、本番前になると日曜日も練習します。私たちは一年を通してさまざまな行事に参加しています。特に夏のサマーコンサートでは、卒業生の方々に大変お世話になっています。

私たち現役にとって、サマーコンサートとは、卒業生の皆さんと交流できる大切な場所です。一緒に舞台で演奏したり､終了後にパートごとに集まって話したりすることが、すごく楽しい思い出となって残っていきます。

吹奏楽部　部長　富田　亜佑美

吹奏楽部　サマーコンサート（卒業生から）

最初はOBの同窓会的に始まったらしいサマコン（サマーコンサート）ですが、まだOBになって日の浅い自分にとって、サマコンというのは、まさにOBと生徒との交流の場でした。

サマコンという演奏会に､OBステージ､生徒ステージと､別々に参加するだけでなく、OBと生徒の共演である合同演奏は、生徒にとって、ほぼ初対面の色々な世代の人がいる中、OBも生徒もお互いに刺激を受け、一人の指揮の元、一つの曲を作り上げていける、とても良い場だと思います。

そうして知り合った後は、生徒はOBに練習を見てもらったり、運営を手伝ってもらったり、OBは練習場所や、高校にある楽器や楽譜を提供してもらったりと、OBと生徒は持ちつ持たれつの関係で、いつまでも交流が続いていく。これからもそういう形で、自分達の過ごした「大泉」が有り続けていければなと、若輩ながらそう願います。

2008年度　サマコン幹事　長野　光一郎

女子バスケット部　関東大会出場へ いずみ会強力支援!!

今年の４月29日に私立明星高校に勝ち、都でベスト８になり関東大会に出場しました。東京都には、都立・私立合わせて335チームの女子バスケットボールチームが有りますが、大泉高校のバスケットボール部の歴史では初めての関東大会出場、東京都の高校バスケットボールでは私立の強豪が多い中の公立高校の快挙です。

６月７日関東大会当日、「大泉高校バスケット部OB, OG会」は、バス２台を連ねて、おそろいのＴシャツで100名近い現役男子、保護者と共に応援しました。惜しくも一回戦で山梨の強豪、富士学苑に敗れはしましたが、東京の予選の時より強くなり、プレーしているのが楽しそうでした。

いずみ会では５月の理事会で、関東大会に出場を決めた女子バスケットボールチームに、何か支援は出来ないかと話し合われました。その結果、６月７日の定時評議員会で募金をしてはどうかと提案があり承認されました。そして、６月７日の評議員会に出席した大勢の評議員の好意により、66,561円もの募金が集まったのです。この募金を７月１日に母校菊地芳男校長へいずみ会の大髙事務局長が手渡しました。

今年の評議員会では、いずみ会は今年度から母校の諸活動や、運動部・文化部に所属する各部の諸活動に対する支援を積極的に行うことにし、準備金100万円を上限として設定する提案がされ承認されました。これからも学校や各部の活躍を期待し、この準備金から支援を受ける学校活動や部活動がドンドン出てくることをいずみ会として望んでいます。

國谷　俊之（高校14期）

我が剣道部の活躍

私達にとって大泉高校剣道部での３年間は、本当に充実していました。日々努力を惜しまず、強くなりたいという一心で稽古に励みました。ここまで続けられたのも、コーチの先生や､先輩方のおかげです。本当に感謝しています。これからも剣道で培った心構えを決して忘れることなく自分たちの目標に向けて、進歩していきたいと思います。

（３年６組　尾関　亮太記）

★最長４分間、面をつけての戦いはとても激しいものです。試合を終えて面をとった時、きっと勝負の悔しさ、嬉しさの前にほっと息つく充実の瞬間が有ったと思います。

活躍する野球部

自分達は日々「高い意識」「一枚岩」ということをテーマに練習してきました。夏の大会も間近に控え、部員一人一人がモチベーションを上げてとてもよい雰囲気です。今大会は「全員でバカになる」ということをみんなで話し合い、全力プレーを心がけ、必ず西東京大会の頂点に立ちます。

（７月８日　３年２組　須藤　大輔記）

★残念ながら、今大会３回戦で小平高校に破れてしまいましたが、自分たちの未来に向けてきっと「何か」をつかんだことと思います。がんばりました。

野球部表彰される

都立大泉高校（練馬区）の野球部女子マネージャー６人が、立川市の多摩都市モノレール「柴崎体育館駅」で、転倒してけがをした男性（69）を連携して救護した。立川消防署は同野球部に感謝状を贈ることを決めた。女子マネージャーたちは、市営立川球場で行われた高校野球西東京大会の試合に向かう途中だった。

６人は、３年の田村あゆみさんと松本裕美乃さん、垣内舞さん、２年の松村可奈子さん、荒井由紀さん、１年の徳永彩さん。

同消防署や女子マネージャーたちによると、11日午前７時半ごろ、同駅改札近くで男性がつまずいて転倒。額から出血しているのを見て、持っていたタオルで止血、体を支えるなどした。別のマネージャーが119番に通報し、この男性の家族への連絡にあたった。その後、消防署員が到着するまで男性をみんなで見守った。背中を支えた田村さんは昨年、学校で救命講習を受講した。「助けられてよかった」と話している。

（７月18日朝日新聞朝刊・多摩版より転載）

平成20年度の主な学校行事

４月８日・入学式
５月８日・体育祭
９月14日～15日・文化祭
10月11日・学校説明会
10月14日・開校記念日
11月８日・学校説明会
１月19日～22日・HR合宿
２月23日・入学試験
３月12日・卒業式予行
　　・いずみ会入会式
３月13日・卒業式

恩師近況

海老根　甲
理科　S41年～S50年

大泉高校を去り長い時間が経ちました。すばらしい学校でした。懐かしい思い出です。今回は私自身の近況について知らせて欲しいとの事ですが、先ず、健康状況としては、年齢も87歳となりましたので、物事を忘れることが極端に激しく、運動不足から歩く足が非常に弱くなりました。ただ大きな老人病は、今日現在は一つも持たないことを幸に思っております。

第三の故郷とも言うべき鴨川では、老後はのんびりどころではなく、死を間近にこんなにも多忙とは。せめて考える事を減らそうと、趣味として下手な俳句を始めました。

世の移り変わりについては、人間活動もそうですが、地表の白熊など、地球は今後どの位無事に存在できますかね。

原田　清美
国語科　S55年～ H4 年

いずみ会の皆様、お元気でいらっしゃいますか。私は今年から向丘高校に勤務いたしております。教員となって29年目になりますが、大泉高校は、私の教員としての原点となっています。広島ホームルーム合宿を初めて企画・実施した学年で学ばせていただいたことを生かし、豊島高校と荒川商業高校では、沖縄修学旅行の担当もいたしました。大泉高校で才能溢れる素晴らしい生徒達と、抜群のチームワークで情熱に満ちた先生方と出会えたことは、私の大切な宝物です。今も続いている心温まるお付き合いに心から感謝いたしております。最近の趣味は、ダイビングと水中写真で、美しい沖縄の海に癒されております。

皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

淀縄　光洋
英語科　S38年～ S47年

庭の“しでこぶし”が花開く三月、18期同期会に招かれた。今年で還暦という生徒達に会えて、楽しかった。功成し遂げ立派になっていた。

大学教授を定年退職して今年で８年目になる。暇かといえば結構忙しい。家の中のことで時間をとられる。余暇を作り出して、春夏秋冬はもとより、行きたい所があれば、旅に出る。大学の授業料が年間千八百円の時代の友人なので、互いの気持ちは通じ合う気楽な旅だ。外国は十分歩いた仲間なので、国内が主流になる。これが心のオアシスとなる。

寝る前に学生時代買っておいた小説、戯曲を睡眠薬代わりに読んでいる。やはり知らない単語がいまだにある。

追悼　「先生方のご冥福をお祈りいたします」

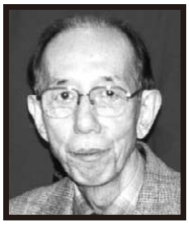
── 略歴 ──
清水　芳彦先生
平成19年12月６日没
享年85歳
S23～S38在職
英語科

細い黒ブチのメガネでその奥の目はやさしいのです。朝の授業はあわてて家を出られたせいか、寝癖で、後頭髪がピンと立ったままのご愛嬌があり、「デン助」とあだ名をつけたゆえんです。授業での第一印象は「英語らしい発音のすばらしい先生」ということでした。なんとか一歩でも近づきたいと私も家に帰ってから声を出して、予習、復習をしたことを思い出します。また、授業外でも教員室におじゃまして変な質問をして、たびたび困らせてしまいました。特に、休憩時間、タバコをおいしそうにくゆらせておられた時に。

先生は数年前、突然体調を崩されてからも初春には精一杯の自筆の賀状を送ってくださっていました。残念ながらこれも昨春が最後となってしまいました。先生、ありがとう。

（市川　敬二・高13期）

大橋先生は私達にとっては、何時も傍に居て見守ってくださる存在でした。卒業当初は男子学生も随分お世話になったと伺っております。学校の勉強以外の大人の教育で。素朴でボソッと話される中にとても親しみを感じさせてくださるひと言ひと言が、話していても心温まる思いを常にさせてくださった先生でした。クラス会には必ず奥様をご同伴なさる夫婦愛も、私達にとっては卒業しても素晴らしい人生の恩師でした。夫婦って一緒に人生を終わることは出来ないのですよね。奥様を残されて旅立たれた先生のお気持ちを痛いほど感じます。どうか、千の風になって今までのように私達と一緒にお声は聞けなくても見守ってください。合掌



── 略歴 ──
大橋　信夫先生
平成19年12月７日没
享年83歳
S29～S39在職
国語科

（羽根田　千賀子・高10期）

── 略歴 ──
堤　治美先生
平成20年４月29日没
享年80歳
S27～S42在職
保健体育科

堤先生が昭和27年に赴任され、大泉ラグビー部は燃えた。

初めての夏合宿、九州弁がグランド中を飛び交い、われわれを追い回されたこと。当時全国一のＨ高打倒のため全部員が“丸坊主”になり挑戦したが、惨敗したこと。われわれ悪童が先生の下宿を訪ね“洗面器”のすき焼きをご馳走になったこと等。忘れられない。

終戦直後の何もない時代から50数年に亘りラグビーを通じ「厳しく」「優しく」「明るく」ご指導頂きました。

その間昭和61年の高校日本代表アイルランド遠征では団長を勤められました。先生の言葉「ラグビー精神と友達を大切にしろ！」を座右の銘として今後も生きてゆきます。心からご冥福をお祈りいたします。

（豊嶋　志朗・高６期）

── 略歴 ──
坂間　利昭先生
平成20年４月26日没
享年77歳
S37～S47在職
数学科

数学の授業の始め、「1＋1の答えは？」ひそかなざわめきが教室に流れました。「2」誰かの声。先生は「2も答え。でも0も1も答え。そのうちわかるよ。さあ授業だ」

多分「集合」の事だろうと後で思いましたが、先生の事、もっとほかにも言いたいことがあったのではないだろうかと、40年たってもその答えを聞くチャンスを逃した私は思っているのです。先生は折に触れ人としての生き方を私達に示唆してくれていたのだと思います。自由は大きな責任が伴うこと。プライドを持って自分に恥じない行動をする事など…。子供を育てていて、「あっ！」と思う事もあり、高校生の時、もっと真面目に授業を聞いておくのだったと後悔しております。ご冥福を祈っております。

（藤森　由紀子・高19期）

健康麻雀教室レディース
第２・４金曜日12：00～17：00　いずみ会室

ルールは、呑まない、吸わない、賭けない健康麻雀。いいヒビキです。ベテランOBの方が分かりやすく、初めての人、初級の人に基礎から教えて下さいます。年齢は関係なく大泉高校のOGだけというのは、夢のようですし、安心感もありますね。何よりも和気藹々の雰囲気は最高！今、脳トレにもなる麻雀が見直されています。この良い機会にぜひ皆様、お仲間になってほしいです。楽しい世界が広がりますよ。お教室をぜひ覗いて見てください。みなでお待ちしています。（高７期・MH）

古典に親しむ会
第４木曜日・10：00～12：00　グランフォンテ集会室

古今は面白い。

「今は昔……。となむ語り伝えたるとや。」という決まり文句でおなじみの今昔物語集。今年度も大軒史子（高９期）女史を講師に読んでいます。かの芥川龍之介が、この物語集をヒントに「鼻」「羅生門」「芋粥」などの作品を発表してのち、「今昔物語集」は世に知られるようになったとか。「へ～、そうなんだ！ 知らなかった！」と受講者の声しきり。講義では説話を音読していく。声を出して読むと内容が少しずつ染み入ってくるような気がするから不思議！ インド・中国・日本の国民性や思想の違い、時代による道徳観、常識の違いに驚きの声。ん百年のち、現代の出来事を読むであろう未来人に「エーっ！」と驚かれることもきっとあるのでしょう。それまで地球が存在すれば…の話！ 鬼が笑うでしょうが、来年はどんな物語になるでしょうか？ 楽しみです。皆さん、ぜひ一度覗いて見てくださいね。（20期・AM）

囲碁同好会　第３水曜日　13：00～17：00

入門者大歓迎。終了後の囲碁談義で一献もまた楽し。初心者・女性も大丈夫、先輩方が丁寧に指導します。

健康麻雀教室　第１・３火曜日　12：00～17：00

常に３卓成立の盛況ぶり。友が友を呼び、仲間が増えています。いつも笑い声とジョークが飛び交っています。

友遊

馬上に少年過ぎ
世は平らかにし
残躯は天の赦す
楽しまずして如
伊達政宗

まんぽ会あれこれ
奇数月に開催

いずみ会のサークル活動で誰にも参加しやすい「歩く」会をやろうという話が浮上してきた時まず私の頭に浮かんだのはサラリーマン生活最後の５年前頃より就任の友達と始めた「山歩き」会で「山歩会」あるいは「歩々会」と名乗っていたことである。しかし今日は対象がいずみ会の我々より先輩の方や女性も含むということでコンセプトも名称も考え直す必要がありそうだと思いました。

まずコンセプトは、かの有名な深田久弥の「日本百名山」踏破を狙うといった大げさなものではサラサラ無い「近場の低山の自然を楽しみながら歩く」あるいは「名前は知っているが今まで行くチャンスがなかった街のスポットを探

現役生と同窓生

部のOB・OGではなくても、同好の士であったり、一ファンであったり、現役生との交流を実践されている人々がいます。はからずもいずみ会人材バンクのひとつの目的である、「大泉」への人的支援の一翼を担う活動をすでに実践されていらっしゃいました。

後輩たちのクラブ活動を応援しませんか？ あの頃、あの時を思い出し、原点に返って同じ目線で一緒に汗をかき、声援を送る。そこには「ともに何かをすること」によって得られる宝物があるような気がします。

大泉高校野球部を応援し続けて
仁井　良平（高９期）

来年古希を迎え、母校の公式野球部を応援し続けて20数年、今も昔の面影を残すグラウンドへ休日には駆け付ける「大泉の野球親父」と呼ばれている高９期卒のへんなおじさんです。応援の切っ掛けは都立四商エースピッチャーで後の同校監督の会社

て白髪多し
所
何せん
「酔余口号」

若き時世には華々しく社会への貢献を成し遂げた企業戦士も、今は現役を退いて、悠々自適の日を送っている。天から賜った身体にも老いの影が忍び寄り、頭も白くなったが、天はこの残躯を赦して下さる筈である。天神に甘える訳ではないが、限られた貴重な時間を楽しく過ごす事こそが後々に大きな悔いを残さない肝心事である。　　嶋　正彦（高５期）麻雀日記より

訪する」といった癒し系を目指すものと致しました。

さて、次の名称となると、候補に上がってきたのは「万歩会」…最近肥満防止と一日一万歩を目指す中高年が増えている…、あるいは「満歩会」…歩くことで気持ちが満たされる…、あるいは「漫歩会」…そぞろに、あてがない、深いわけがないの意…等であります。どれがいいかな、漫然と考えている間に、皆さんの協力を得て会はどんどん動き始め、既に４回の活動を行なってきましたが、どんな名称がふさわしいのか？どれにも当てはまるようであり、どれにも当てはまらないようでもあるのが正直な感想であります。

誰か会にピッタリの決定的な名称を考えて頂けませんか？このあいまいな「まんぽ会」のままが心地よいとの声も聞こえてきそうですが。　　（高13期・市川　敬二）

健康麻雀教室・まんぽの会　那須合同合宿

まんぽ会　高尾山行

宇田川　公子（高８期）

台風の影響で午前中は雨という予報の中、高尾山口駅には元気のよい22名が集合。下から登る予定だったウサギさんチームもカメさんチームに合流してケーブルカーで高尾山駅終点へ。タコ杉などを横目で見て11時前に権現茶屋に到着。予定より早い昼食を取った後、遊び上手な世話役の方々の指導で茶屋は歌声喫茶に変身。そのうち雨も止み真言宗智山派の大本山であり、古くから山岳信仰の霊場として栄えた薬王院を経て山頂へ。標高599m の山頂は関東の富士見100景に選ばれている上、2007年にはフランスのミシュランガイドで最高ランクの“三ツ星”の観光地に、山としては富士山と共に選出され、年間250万人が訪れるとの事ですが、さすがにこの豪雨の中を登ってくる人は殆どなく、頂上はまんぽの会の貸し切り状態でした。雨上がりの緑美しい高尾山は豊かな自然の中で澄み切った鶯の鳴き声も聞こえて爽やかな気分でした。

この指とまれ！

絵手紙、俳句、短歌、写真、スケッチ、手芸、編み物などなど…同窓の仲間と遊んでみませんか？ こんなことしたい！ これなら少し教えられる！ そんな方どんどん手を上げてください。期を越えていずみ会の友達の輪・和をどんどん広げていきましょう。

連絡先は　関根強一（高11期）sekine.oizumi@y8.dion.ne.jp
tel&fax：03−3924−9499

只今、「ナポレオン」というカードゲームの会が試運転中です。（第４木曜・13：00 〜いずみ会室）

の同僚が、サラリーマン時代に母校の野球でも観戦して心を癒してみたらと言われ、夏大会の府中球場へ行ったのが始まりでした。今年も６月末までに34回試合に顔を出しました。部員は68名で彼等は年３回の公式戦と土日・祭日には東京及び他県の学校と対外試合をし、大会枠20名のベンチ入りを目指し励んでいます。最近選手の中にはリトルリーグで活躍の人もおります。他方、使い古しのボールの綻びを縫い、チームを支える女子マネージャーの直向きな姿も見逃せません。高校野球はトーナメント方式で初戦で姿を消す多くの若き球児がいる現実を過酷であると数年前米国のマスメディアが取り上げ、取材に来日した記事を思い出します。小生が野球に夢中になったわけは彼らの野球に打ち込む姿に惚れ込んだからです。最後に小生の夢は大泉発甲子園行１号車に乗ることです！

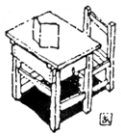
部活に参加しています。同志募集中

松岡　五郎（高５期）

３年前いずみ会60周年行事の実行副委員長を仰せつかり、それまで無関心だった同窓会活動の一端に触れさせて頂いた。その折、中高一貫校化や同窓会員人材バンクの事などについても母校発展への支援および同窓会の活性化をベースに種々話し合った。古希を迎えた年寄りが、まだ会社勤めで時間に制約がある事を忘れて、会議参加以外に、自分の出来る事をやってみる気になったのは、多少の修羅場をくぐり続け通俗的な価値観に固まっている筈の自分が、いずみ会の会議に参加する度、大泉に来るたびに半世紀余り前の世界にいるような気分に時々なっていたからではないだろうか。

在校中はテニス部（当時は軟式のみ）でしたが、今は剣道部にいます。中身の濃い部になるお手伝いが出来れば…と。高13期笠原さんと共に同志募集中。見学大歓迎！

同期会だより



高6期 三年ぶりに『高六期会』を開催 今村 邦夫

六期会（代表幹事石井岱三）では、4月20日（日）東京赤坂のホテル・アジア会館内レストラン・富士で六期会としては三年振りとなる集いを行ないました。昭和29年3月卒業で全員が古稀を迎えた72歳以上のメンバー男女53名が参加し、久し振りの顔合わせで、昔の面影は思い出しても名前を忘れている光景が、あちこちに見られる談笑が、三時間の予定を、あっと言う間に過ぎて、ジジババの集合写真でお開きとなり、三々五々二次会へと流れて、次回の再会を楽しみに家路につきました。

六期会は平成17年4月にラグビー部OB会と合同で「日比野氏を囲む会」と11月に、同窓会いずみ会（会長石井岱三）創立60周年記念式典・懇親会が重なり、18年19年は六期会の開催を見送ってきました。昨年10月頃から六期会ニュース等で、平成20年5・6月開催を呼掛け、1月各組幹事・世話人会を開いて、日時・会場を決め、六期会現有会員266名に、いずみ会会員情報部からの宛名ラベルを利用させていただき案内状を発送しました。参加した同期生の中には卒業後、初めて参加された方も、三重県、栃木県からの友や、病後療養中の安定期に頑張って出席された同期生に、暖かい励ましの言葉を掛ける場面も見られ、久し振りの会合は、充実した同期の仲間を生み出す、春の一日となりました。唯、残念なことは石井岱三君が、体調不良で入院され、参加できなかったことです。

高13期 全員65歳を迎えて 山本 章義

満開は過ぎたとは言え、まだかなりの桜が咲いていた日比谷公園の中にあるヴィラデマリアージュ日比谷パレスにて13期第8回同期会が4月3日開催され､同期生52名の他､ご来賓として高齢にも拘らず数学の高橋先生と化学の森谷安吉先生が遠路ご出席頂き花を添えて頂きました。

今回の同期会は同期生全員が65歳という節目を迎えたのでこれを記念して開催したものです。

田中幹事の司会で戸田代表幹事の開会挨拶に続いて、なくなった同期生の冥福を祈り、全員黙祷。早川幹事に音頭をとってもらい、乾杯でパーティ開始。司会者によるインタビュー形式で先生の近況等を紹介。めいめいがお酒片手に、懐かしい先生のところへ挨拶に行ったり、サークルやクラスの友たちと旧交を温めたりで、あっという間に時間も過ぎ、コーラス部の指揮で校歌と校友の歌を全員で合唱後中締めとなり、帝国ホテルの二次会場へ移りました。

次回は卒業50周年記念となる68歳を迎える3年後の7月を予定しています。今回出席できなかった人も、出席された人も是非ご参加下さい。なお同期会開催方法について提案をお願いします。例えば50周年目の修学旅行形式にするとか、第1部は恩師による授業再現＆同期生による講演、第2部は通常のパーティにする等です。

高5期 甦った青春の輝き 嶋 正彦

平成19年11月17日私学会館アルカディア市ヶ谷に於いて三年振りの五期会が開催されました。

会場には「校友の歌」が静かに流れ、我等が懐かしき仲間達四十数名が順次参集し、定刻前には用意されていた全ての席が埋まりました。旧懐の宴の始まりです。

会場一杯に五十五年前の青春が息衝き、陽春の輝きが甦って来ました。

穏やかな老紳士に変身した海洋部猛者連の心は大海原を駆け巡っていました。カッターを改造したヨットでの処女航海、房総勝山での合宿を思い出しています。セールに描かれた校章の山桜が正に水平線に沈まんとする夕陽を受けて、誇らしげに翻っていました。

ラケットを竹刀に持ち替えた剣豪も健在です。極めた極意は、権力に追従する事のない多摩の剣法天然理心流ではあるまいか等と想像を逞しくしています。現在も人気抜群の美剣士、沖田総司の影が重なるのです。

ゴージャスな白い光を受けて、すっきりと大人っぽくアダルトなファッションを着こなしたマドンナ達も勢揃いです。若き日のハートを激しく揺れ動かした女性達です。あの笑顔としなやかな立ち居振る舞いの一つ一つから、恋のときめきを教えられたのです。

カラオケが始まりました。美声と抜群の歌唱力、そして巧みなマイク捌き、どれをとっても超一流です。歩むべき道を誤ったのでは、と思わせる程の旨さです。

やがて、想い出の世界も終演を迎える時刻が迫って来ました。ファンタジックな調べに乗って、散会の案内が聞こえて来ます。

家路を急ぐ人、そして目配せ一つで相通ずる、懐かしい旧式のシグナルを送って、銀座へと足を運んだ昔の悪餓鬼達の姿も見受けられました。

高13期同期会

高8期　今を楽しむ古希の会

谷治　正孝

還暦記念以後、５年に２度のペースで開かれている高８期同期会は、さる６月21日虎ノ門パストラルホテルで、古希記念として開催された。一次会出席者86人、二次会出席者69名、10年前の還暦記念出席者150余名に比べると漸減ではあるが、参加者はそれぞれ会を楽しんだ。

茂木幹事の司会で、開会の辞は８の会会長、片山隆氏、ついで恩師二人のご挨拶をいただいた。

土屋光道先生は「先は永くはない、今生きていることを楽しもう」と挨拶。１年２ヶ月前に愛妻を亡くされ、嘆き悲しんでおられた師の、宗教者として一段と大きくなられた姿に、一同、目を見張った。

中山雄一先生は５月に日本理化学協会会長の職を後任に譲ったが、８月の全国大会の準備に忙しく、国立科学博物館の教育ボランティアも始められると挨拶、専門を活かし社会に奉仕する道を歩む姿を紹介された。

古希とはいっても、日本にはまだ同年代が147万人も健在である。恩師は担任９名中、御存命者３人と寂しい限りであるが、同期生の物故者は43人（幹事の把握数）、まだ、6/7 以上は存命であろう。秋の８の会主催のいずみ会にも仲間と出席して楽しい会を作ろうと誓い合った。

一次会は恒例の校歌・校友の歌合唱で締めくくり、梅雨空のもと、会場を階下に移して二次会、合わせて、４時間半の会はあっというまに終わり、好評であった。

田邊繁氏撮影

高40期　20年ぶりに母校へ！

黒木（高澤）ゆき

卒業20周年の同期会を母校の教室で！そんなうれしいお知らせを受けて、去る３月29日、ベビーカーに子どもを乗せ、胸躍らせながら大泉高校を訪ねました。

正門に到着すると…ああ、これよ～！ 青空を埋め尽くすような満開の桜並木!!「おかえりなさい」と、あたたかく迎えてくれました。テニスコート、正面玄関の前の広場…。泣きくずれそうになるほど、懐かしく、「帰ってくるべき場所に戻ってきた」、そんな想いが込み上げてきました。

教室には、懐かしい笑顔。いずみ会名簿や口コミにより、３の１，３の７を中心とした24名の仲間が集まりました。そしてビッグゲストは、心優しい高橋健三先生と、ユーモアあふれる中田民夫先生！ お二方ともお変わりなく、お世話になった感謝の気持ちを込めて、感謝状をお贈りしました。皆の近況報告からは、それぞれ卒業後の人生を謳歌している様子がうかがえ、充実したひとときとなりました。

その後、教室を出て、校内をみなで散策しました。風が心地よい渡り廊下、校舎の隙間からチラリと見える校庭、別棟の学食、裏の自転車置き場…。「そうそう、懐かしい！」「あれ？ こんなだったかな？」と皆で話しながら歩いていきました。最後に桜並木をバックに記念撮影、和食処での二次会へ…。本当にスペシャルな時間を過ごすことができました。幹事さん、ありがとう。来春も開催予定とのこと(13ページ参照)。互いに声をかけ合い、一人でも多くの仲間と再会できたら…。2009年春、また会いましょう！ 桜並木の下で。

高14期　「毎年10月14日」

國谷　俊之

私達が50歳の時の同期会を第１回とすると、今回の10月13日の同期会で５回目になりました。出席者は55名と、宇高・菊谷・広瀬・中山の先生方にお越しいただきました。三戸・大橋両先生には体調不良でお越しいただけなかったのは残念でした。３年Ｃ組の田村誠氏の司会で始まり、３年Ｆ組の大串代表幹事の挨拶、乾杯。来賓の諸先生方の近況報告と続きます。いつも感じる事ですが、先生方にはいつもお若く、元気で、体形も変わらず、私達より若いの声しきり。その上、社交ダンス、囲碁、テニス等で心身を鍛えていらっしゃる様子。今年「前期高齢者」に入る私達に人生の生き方を示唆していただいたような気がします。

しばらく歓談後、例年通りイベントとして、ビンゴ、全員合唱を行い、３年Ｃ組の吉田恒彦氏の中締めで散会し、３時間があっという間に済みました。今回は、飛び入りで３年Ｅ組吉川幹夫氏による大道芸（南京玉簾、腹話術等）も披露され、拍手喝さいを浴びました。

４年前の還暦の「４の会」スタートから14期は毎年同期会を行なうと決めました。期日は毎年「10月14日」です。過去、４回で80名を超すこともありましたが、最近は60名近い参加者なので14期・幹事会の名前を「大泉のお」「14ヒトヨンとボランティア」の意を込めて「お人好し会」に改め、多くの仲間が気楽に集まってワイワイガヤガヤと楽しくやる

会を目指しています。次回は平成20年10月14日・第一イン池袋ホテルを予定しています。

高18期 還暦を迎えて！

田瀬　則雄

平成20年3月16日、市ヶ谷の私学会館アルカディアにおいて、平成17年11月以来の同期会を開催しました。前回は卒業40年ということでしたが、今回は還暦という節目で、定年を迎え、「還暦を迎え、振りかえるあの頃、そしてこれからの道程」ということで開催しました。

当日はお天気にも恵まれ、フジテレビの元アナウンサーの大川和彦氏の名司会で幕を開け、19名の幹事団が半年をかけて企画した「同期の仲間の活動紹介コーナー」、「思い出の写真」、「若杉哲夫氏率いるフォークドリーマーによる懐かしのメロディーと校歌の演奏」、「集合写真の即時販売」など好評のうちに進行しました。

ご臨席いただきました恩師の甲賀多恵子、菊谷義美、市村緑郎、淀縄光洋、石井秀、服部正平、小田切理文、宇高ちさ、図子岩雄、広瀬（浅見）芳子、中山雄一、園城寺真一（敬称略）の各先生から近況報告とこれからの人生の過ごし方についての貴重なアドバイスをいただきました。

団塊の世代で、入学時は10組、550名いました。しかしすでに知り得ただけで、鬼籍に入られた方が23名もいて淋しい限りです。参加者は二次会を含め、95名とちょっと残念なところもありましたが、220名以上の方とは音信がとれましたし、5時間あまり、懐かしく、楽しい時間を過ごすことができましたこと、皆様に感謝いたします。

次回の幹事長を安斎秀行氏にお願いし、バトンタッチしました。次回は平成22年秋ごろかと楽しみにしています。

高21期 11回の軌跡

植村　久

21期同期会を2008年6月14日（土）に新宿三井クラブで開催しました。今回は通算11回となり、平均すればほぼ4年に1回の開催でオリンピックなみです。

卒業時は、9クラス442人でしたが、今回の出席者は、恩師3先生をまじえて、1次会70人、2次会60人でした。

ご出席くださった恒松先生、金尾先生、荻野先生の御三方とも問題となった「後期高齢者」年代ですが、バリバリのエネルギーを発散して、「準備期高齢者」のわれわれにパワーを浴びせてくださいました。

2年後の2010年にはみな「還暦」を迎えますので、2010年11月開催予定の「還暦記念同期会」出席を誓いあい、また、2011年の同窓会いずみ会総会は「1の会」担当になるので、21期も全面協力の意を固めて、散会しました。

〈都立大泉高校21期同期会の記録〉

回数	年月日	出席人数	会費(円)	会場
【卒業】	1969年3月13日（木）	【442】	−	−
第1回	1969年9月15日（月）	119	400	豊島区民センター
第2回	1971年3月13日（土）	90	600	豊島区民センター
第3回	1974年1月26日（土）	66	2,000	市ヶ谷会館
第4回	1976年1月17日（土）	30	3,000	市ヶ谷会館
第5回	1984年11月23日（金）	25	7,000	市ヶ谷会館
第6回	1990年12月2日（日）	90	9,000	青山会館
第7回	1996年12日2日（月）	55	10,000	グランドヒル市ヶ谷
第8回	1999年2月27日（土）	111	12,000	グランドヒル市ヶ谷
第9回	2000年11月11日（日）	91	8,000	モノリス29
第10回	2004年11月27日（土）	93	10,000	椿山荘
第11回	2008年6月14日（土）	70	10,000	新宿三井クラブ

声

★卒業後60年余が過ぎ、会報が近況を知る唯一情報源です。（中1期）★会報が届くと大泉時代を思い出し、クラスメートの顔が浮かんできます（高36期）★公立高校でこれだけ同窓会の“横のつながり”がしっかり出来るのは素晴しい（高47期）☆西武線より高校の桜並木を垣間見ることもなくなり、なおさら会報の到着が嬉しい（高31期）☆恩師近況が毎号とても楽しみです（高36期）★中高一貫校への移行による部活、体育祭、文化祭が今の形で継承されるか非常に心配です（高26期）★囲碁同好会など、在京であれば参加したいのに。残念です。ますますいろいろな活動の輪が広がりますように（高18期）☆組織的に同窓会が動いている様子が伝わってきて敬服しています（高14期）☆短歌詠草を多少楽しんでおります。いずみ会で交流の機会、また発表掲載の企画はありますか？（高8期）★楽しく運営されている会だと思います（高7期）★大泉中・高で学び中学時代、母校をパラダイスと呼んでいました。愛校心は中学時代に芽生えます（高3期）★囲碁同好者を増やそうと思いましたが、会場が狭い！ なんとか場所を（高4期）★人材バンクは、会員同士での活用も大切ですが、在校学生に対する役立ち方を考える（学校とともに）必要あり（高4期）★西日本での活動、話題があれば…（高23期）★2000年名簿が発行され、旧友との交流が復活し、クラス会も年1回開かれるようになりました（高1期）★今後も大泉の後輩たちを温かく見守ってあげてください（高56期）

高29期　4年ごとに集いましょう！　大久保　靖

6月14日（土）午後4時からアルカディア市ヶ谷において、恩師・同期生あわせて百名近くが集まって同期会を開催いたしました。我々29期では、オリンピックイヤーにあわせて4年に一度同期会を開催しており、今回が4回目となります。

29期は昭和33年生まれが中心ですので、多くの同期生が今年50歳を迎えることになります。体力の衰えや知らず知らずに忍び寄る老化（老眼！）現象を吹き飛ばし、50代＝黄金世代として充実の日々を過ごすべく、同期生一同、夜遅くまで怪気炎をうち上げました。

さて、今回特筆すべきことは、初めて同期会に参加された方が多かったことでしょう。学校時代の友人との交流が途絶えていたりすると、同期会に出席するのはなかなか勇気のいるもの。でも、そうした方から「来て良かった」といった感想をいただくと、幹事としてはほんとうに嬉しい限りです。

ある同期生が言っていたのですが、高校の頃にほとんど面識のなかった人と、あたかも旧知のごとく、うちとけて話せるのが同期会です。同じクラス、クラブに属していなくても、同じ時期に大泉で学んだという共通体験がなせる業です。それだけ高校時代の3年間が、それぞれにとってかけがえのない濃密な時間だった証といえるのではないでしょうか。

まだ、一度も同期会に参加されていないみなさんへ。4年後にはお会いできることを楽しみにしております。

おしらせ

☆高40期

40期は来春の同期会に参加していただける仲間を募集します。2009年3月28日（土）母校にて開催予定！ 恩師を囲んで全員が元気になる集まりにしたいです。参加希望の方は伊藤まで。090−3099−2793

nerimakuooizumi@yahoo.co.jp

☆高20期・高46期も同期会を予定しています。詳細は葉書等にてお知らせいたします。

会員訃報（敬称略）

心よりご冥福をお祈りします。

期	現姓	名	旧姓	逝去
中2	加藤	勝吉		H18.12.15
中2	時目	迪彦		H19.1
中2	宮本	隆司		H19.8.30
中3	栗原	宜夫		H19.3.21
中3	坂間	利昭		H20.4.26
高2	塚田	孝次		H19
高3	須藤	倘宏		H17.10.1
高3	増田	融		H19.9.28
高3	横井	洸二		H14.6
高4	飯塚	慎二		H19.6.3
高4	横山	弘		H14
高5	鈴木	貞男		H17.11.9
高5	楢崎	繁		H19.4.4
高6	青木	健		H19.10.26
高6	高岩	仁		H20.1.29
高6	金山	和江	安川	H19.9
高7	桔梗	玲子	大沢	H19.8.9
高8	藤田	秀男		H19.5.30
高8	三原	滋		H20.2.4
高8	大石	哲也		H20.1.13
高8	阿部	宏弥		
高8	大西	久雄		H19.11
高8	東久	美子	藍原	H19.7
高8	野口	瑛子	野口	H20.2.1
高9	相原	英子	星	H17.6.27
高10	山田	進		
高10	嘉悦	敬之		H20.6.1
高11	城戸	恵一		H19.12.26
高11	大庭	靖子	芝尾	H20.1.29
高11	奥名	敏子		
高12	榊原	正明		H19.7.14
高12	山本	洋子	佐野	H20.1.12
高13	首藤	房江	森田	H19.9
高13	松尾	洋		H20.2.18
高13	後藤	翠	浅見	H18.7.28
高13	笹沼	正典		H19.2.8
高16	矢野	和夫		
高18	山仲	滋朗		H18.12
高18	米津	泰子	西村	H15
高18	椎名	恒		H18.10.31
高18	宇佐美なほみ			H18.11.10
高18	土田美智子			H18.7.21
高18	金子	友昭		H16.3.26
高18	秋山	敏行		
高18	水谷祐二郎			
高19	吉野	秀雄		H15.10
高20	讃井	正光		
高20	中谷	文俊		H20.3.28
高21	吉田	雅司	斉藤	H19.12.11
高21	小森	伸子	鈴木	H20.5.11
高22	堀内	正彦		
高24	斉藤	尚子		H16.6
高26	柳沼	康夫		H19.10
高26	壷井久美子		石井	H17.11.23
高29	富田	清美		H16.1.3
高31	梅田	和之		H18.11.20
高36	本橋	淳子	野田	H15.3.23
高43	岡本	憲		H19.9.26
高45	田上	健志		H10

いずみ会初代会長 名倉光雄氏の逝去を悼む

名倉光雄氏は16年4月に府立二十中学校（5年制）に入学、昭和20年3月に戦時特別処置により都立大泉中学校4年時卒業となり、同年4月に東京高等農林学校に入学、同23年3月卒業。学生時代、彼と馬術を共にしたが、彼は文学系の物事を好み、また、英会話に堪能であった。同23年4月に早稲田大学文学部に入学。同大卒業後、叔父氏の関係で東宝株式会社に就職、宣伝部長を経て、株式会社東宝企画社長に就任、後に社団法人映画文化協会専務理事、学校法人名倉学園理事長を経て隠退し、読書に日々を過ごしていた。平成20年7月4日肺炎にて逝去行年81歳（満79歳11ヶ月）。彼はスマートな人柄で、性格温順、友情に厚く、事には鋭意努力の人であった。昭和21年同窓会創立の話があり、初代同窓会会長に就任し、現在のいずみ会の基礎を整えたと聞いている。その多大なご尽力と有意な足跡に対し、深く感謝の意を表し、ご冥福を祈念し、追悼の詞と致します。

（春日　孟・中1期）

会費納入者一覧

（敬称略・平成19年度納入分）

昨年度も多くの皆様に同窓会費及びご寄付を頂き、ありがとうございました。今年度も宜しくお願い致します。今回、お名前を掲載しましたのは、平成19年４月１日から平成20年３月31日まで会費・寄付をお振込み頂いた方々です。掲載要領は次の順序です（単位千円）。

①お名前
②会費納入額（終身会費納入の方は、「終」と表示）
③寄付金額（終身会費を超えた金額は寄付として取り扱わせて頂きました。）

会費納入のきまりは

①高校卒業後10年を経過した年度から、満70才を迎える年までです（今年は高８期から50期の方までが会費納入対象者です）。対象外の方の納入は前納または寄付として受領します。

②年会費は千円です。過去の未納会費へは遡及しません。今年度分から頂きます。なお、会を更に維持・発展させるためには、資金を必要とします。今後とも寄付でご支援下さい。

ご質問・ご意見がございましたら、次の担当までご連絡ください。

会計部長　片山　隆（高８期）
Tel・FAX：03-3392-1568
Email：kata02_yama06@yahoo.co.jp

氏名	会費	寄付
教職員他		
佐藤　徹	3	3
教職員他		
恒松　明		10
教職員他		
小林洋司		20
中 1		
猪股麒一郎		3
大森　勇		2
春日　孟		10
竹田節男		1
藤井　宏		3
中 2		
石井　泉		1
藤瀬季彦		1
中 3		
本橋　長		5
高 1		
池田　茂		31
林崎　裕		5
高 2		
中井嘉文		5
新木敬治		7
稲村　啓		10
清水靖夫		5
高 3		
五十嵐孝夫		1
小川陽弘		1
鈴木勝治		10
高 4		
浅見文夫		1
小川敬三		3
小野寺正臣		1
大沢永弘		5
高木和夫		3
塚田圭一		5
永川省一		2
塙　正男		7
比嘉　高		5
比嘉裕子		3
松井公一		2
三橋昭男		2
森木伸子		3
安井　昇		1
高 5		
大澤　登		2
国澤　弘		3
佐藤　浩		1
松岡五郎		3
小倉昭子		2
田中房代		5
小見　寿		7
高 6		
有田二郎		5
石井岱三		7
伊藤与嗣男		5
太田　毅		2
女屋敏正		3
鴨田博伸		1
菅生　裕		1
杉山　肇		5
高松　範		2
豊嶋志朗		5
永井　満		1
浜野章保		2
原田　清		2
日比野弘		5
村井淳一		3
村上　昇		1
柚原　修		1
渡辺　勤		2
貴志敬子		5
神沢邦子		10
武井和貴子		5
岩瀬敦子		2
高 7		
石間戸宗明		7
柏　五郎		2
池田　実		7
中川康夫		2
持田　滋		2
佐藤静子		1
岩本英子		2
三平千代子		10
高 8		
浅野稠子		3
大西伸二	終	
野口純正		2
中島和子	終	
村田信子	終	
大石哲也	終	
吉田敏生	終	4
渡辺篁子	終	
石岡嘉子	終	
小美濃道雄	終	2
鈴木次郎	終	16
藤井元孝	終	2
土屋美弥子	終	2
高柳美奈子	終	2
山木久子	終	
二瓶嶺子	終	
大場幸雄	終	
松村正道	終	
真野喜興	終	
真室佳武	終	6
小味山和子		1
川口淳子	終	
富岡秀夫	終	6
東　利子	終	
梶間　護	終	4
山上雅子	終	
木根淵初子	終	
杉浦五十鈴	終	1
高 9		
鈴木信男	1	
星田俊江	終	1
角谷　優	終	
小久保尭史	終	
立松修治	終	
上村房子	終	
矢花昌子		3
蔵口　徹		1
佐藤喜昭	終	3
平岡静子	終	3
奥住訓子	終	
福田　稔	終	
安藤淑子	終	
真道富美	終	
鎌倉悦子	終	
清水信幸	終	
長野光康	終	
渡辺　寔	終	
柚原美智子		1
稲葉八州雄	終	
吉田仁彦		1
大軒史子	終	
辻井みどり	終	
藤野喜久子	終	1
武市則昭	終	
深町敏夫	終	3
森　謙一	1	
山下嗣夫		2
澤口朝子	終	1
上田濱子	終	
高 10		
成富明子	終	
山田啓子	終	
岩井町子	終	
池田宗弘	終	
崇島弘安	終	
藤田鞠子	終	
原　京子	終	
栗原　満	終	
保延義夫	終	
尾張由紀子	終	
大谷義彦	終	
金沢健蔵		2
田島　寛		5
井口正光	終	2
池田定之	終	
一ノ瀬勲夫	終	
沖内義明	終	
木村良子	1	
新井忠克	終	5
須藤嘉宏	終	
田所満一	2	
吉沢政雄	終	2
上田都子	終	
鈴木京子	終	
戸部興太郎	2	
瀬尾正子	終	
藤村紀子	終	3
高 11		
中田廣子	終	
鈴木祥子	終	1
服部雅子	終	
田中淑子	終	
竹中近枝	終	16
宇佐美稔枝	終	
渡辺　修		3
広瀬芳子	終	
又木節江	終	6
奥村　操	終	
海老原代師行	終	
大久保匡	終	
清水徹也	1	
永井大二郎	終	
西山　宏	終	
松沢英明	1	
渡部真也	終	
田中　翼	終	
石塚紀子	終	
飯山久美子	終	1
篠原玲子	終	
高野絢子	1	
圷　清秋	3	
町田茂子	終	
安住靖子	終	
飯山　昇	終	1
牛山邦雄	終	
小林浩一	終	
斎藤宏幸	終	
仁科紀一	終	
牧野田光徳	終	6
森山耿茅	終	
横山高幸	終	
高 12		
酒枝英志	終	
阪本桂造		3
小路洲子	終	
熊谷憲一	1	
須崎武男	終	5
山田保子	1	
古田和子	終	
伊藤篤之	終	
澤田嗣郎	終	
篠　義通	終	
菅野忠信	終	
竹上勝夫	終	
谷口宣雄	終	
山本義子	終	2
岡部幹郎	2	
税所篤俊	終	
橋本　晃	終	
高桑　泉	終	
寺岡雅子	1	
岩片卓雄	終	1
巻内　浩	終	5
向井節子	終	1
土川ツヤ子	1	
伊藤洋子	1	
永尾吉慧	終	
高 13		
佐藤勝二郎	終	
石田雅子	終	
今井一郎	終	4
神藏雄司	終	
早川　淳		30
平野忠雄		3
山本章義		3
矢谷國昭	終	
松井和子	終	
白井誠一	終	4
丸山美恵子	5	
磯野保彦	終	
裏田和夫	5	
杉浦和子	終	
大山忠史	終	4
渡辺昌克	終	
山田光子	終	4
伊藤美保子	終	
鎌形苓子	終	
大山久仁子	終	
松尾美恵子	終	
高津幸一		10
戸田一誠		2
小林邦子	終	
佐藤克子		10
川田恵子	終	
高 14		
久保田茂	終	
木村優子	5	
田村阿津子	3	
牧田徹雄	終	
吉井琢治	終	
瀬川多恵子	終	
永山千恵子	1	
重松泰彦	終	
高田久行	終	
飯村淑子	終	
高木登茂子		10
市村悦子		1
字引重威	5	
松沢伸伍	終	3
高崎真知子	終	
水谷はるみ	終	
井上万里子	終	
青木弘子	終	5
草薙正朗	終	
早野　浩	終	3
冨家俊弘	終	
吉田俊昭	2	
大串康夫	終	
奥山朋哉	終	1
津田信明	3	
三浦達彦	終	
谷美恵子	終	
嶋田睦彦	終	
片岡　修	終	
後藤文顕	終	
篠　照敏	終	
光　正克	終	
高 15		
青木喬二	終	1
高関　稔	終	
竹下光彦	2	
中川徹夫		3
石井光子	5	
坂本　成	終	
白鳥克忠	終	2
新田義孝	終	
二松　工	終	
丸山　勉	終	2
渡辺浩通		1
飯村弘子	終	
青山　晃	1	
金田　晃	終	
北村明夫	終	2
速水洋志	終	
中臣国昭	終	7
原　浩二	終	
青木恭子	終	2
石井喜代美	終	7
糸賀啓子	終	
比佐千恵子	終	2
熊谷正美	終	
天野光子	終	
久保田繁		10
岡崎千代子	2	
末吉武子	2	
浅村洋子		5
高 16		
柳崎　功	終	
又木正登	終	1
五十嵐武昭	1	
野田一雄	終	
小林えつ	2	
木村之代	終	1
石川悠子	終	
中村田美子	終	1
神津真久	3	
清水　卓	終	
林　蕙子	3	
落合　順	1	
広田　勉	終	
増田　巌	終	
尾池　幸	1	
高 17		
竹下克彦	終	
中津隈健一	2	
渋谷吉康	終	5
船津弘子	終	
伊藤由美	終	
大西寛子	終	
加藤博司	終	
武藤伸次郎	終	
稲田和子	終	3
阿部昌行	終	
荒瀬恵子	終	
最上美枝子	3	
高見和彦	終	
中田　潔	終	
中村和之	終	
大橋八津江	終	
大野道子	終	2
茂木慶子	終	
村井満由美	終	
衣笠　隆	1	
西尾宗明	終	
堀江悠子	終	3
千葉クミ	終	
白井京子	終	
原田滋子	終	
高 18		
福場光子	終	1
相馬和子	終	
鈴木憲子	1	
島崎　徹	終	
高橋盈江	1	

氏名	会費	寄付
宮崎葉子	終	
中村　謙	終	
別所信子	終	
大久保節子	終	
木島薫子	終	
五島博子	5	
海野不二枝	終	
酒井陽三	終	
岩内瑛子	終	
杉山明美	終	14
南　和子	5	
池田京子	5	
伊藤　彰	終	
有川弘子	3	
山田暁子	2	
小出　薫	終	
田瀬則雄	5	
古橋　徹	2	
高橋誠至	5	
正木達夫	終	
内山　宏	終	
森岡謙三	終	10

高 19

牧野憲一	終	
渡辺正明	終	
平間保枝	1	
杉田時男	5	
栖原イズミ	終	
須藤容子	終	
坂田　茂	終	
井上康子	3	
小山雅文	終	
吉川真知子	終	
常木小由子	1	
松本幸子	2	
豊田百世	終	
井崎由紀子	終	
松代隆子	終	
枳穀敏明	終	
森　義晴	終	
石井佳陽	終	
石倉　功	終	8
清水　実	3	
濱田國夫	1	
東　好夫	終	
稲垣正久	2	
長倉和美	1	
松井恒二	3	
諸沢　孝	1	
中里秀雄	終	
宮原真人	3	

高 20

吉田洋子	5	
荒井真理子	1	
高梨妙子	5	
小池直行	3	
宇川佐知子	3	
藤井律子	1	
神戸和子	1	
中西出昭子	終	
尾崎彰夫	1	
小林照夫	3	
土肥暁美	2	
田村邦子	終	
大川　薫	3	
佐藤れい子	5	

氏名	会費	寄付
菅野啓子	終	
日浅　泉	1	
岡田重道	終	
藤本万里	1	
中村　操	終	
川口章子	5	
斉藤育子	1	
川島文夫	1	
小林憲一	1	
登坂　薫	1	
中島　寛	5	
三上恵只	終	3
金子研一	1	
宮本正信	終	
田中憲太郎	1	
浜口芳夫	終	
井上　茂	終	
藤本　均	1	

高 21

高橋和子	終	
新川順子	5	
井出美佐子	2	
原田　京	終	
長田宣治	1	
内田知子	5	
小野順子	終	1
奥澤康司	5	
小山　徹	1	3
本橋　豊	1	
松下信明	終	6
稲垣義孝	1	
薄井秀樹	5	
水島清隆	5	
高橋衣子	終	
荒井滋喜	1	
西留信行	終	
荒井愛子	1	

高 22

高橋健一	1	
印牧直文	終	
土田喜久雄	5	
安積　明	1	
岩浪秀夫	5	5
山口愛二郎	終	
佐竹大隆	終	
矢崎厚子	終	5
宮森貴美代	1	
高山知也	1	
荒木佳代子	終	
後藤順子	1	
斎藤正義	終	10
平井秀明	2	

高 23

雨宮　徹	3	
大久保博司	7	
篠崎栄美子	10	
木原　強	1	
染谷　滋	5	
岩本　章	1	
岡田充弘	終	
高橋敏彦	終	4
藤波秀雄	5	
太田新六	終	
小林秀典	1	
萩原正俊		2

氏名	会費	寄付
大澤千代子	1	
篠崎達臣	10	
高谷百合子	5	
後藤洋子	3	
田中かほる	5	
秋山美保	3	
大内寿子	3	
矢部政子	1	
森千代美	1	

高 24

星野明義	1	
小林健治	1	
小谷野洋一	終	
鈴木利家	5	
山口知子	1	
松風慶一	10	
杉本幸枝	2	
高橋真基	2	
小山真理子	5	
玉利恭子	1	
藤野貴子	6	
諸星悦子	3	
松橋京子	終	
米橋一美	1	
石原信和	1	
小泉千晴	終	
安田容子	1	
高部　伸	5	

高 25

市川博之	終		
中村修司	5		
須永雅子	10		
剣持孝吉	4		
富樫浩之	10		
吉浦信幸	3		
宮園由紀子	7	3	
中川　桂	1	1	
丸山由美子	10		
福井紀恵	4		
関屋利恵	1		
河野みどり	終	2	
貴村克己	5		
久野千秋	3		
国分弘子	5		
高橋晴子	5		
山本奈々子	2		
會田幸子	終		
大森雅子	3		

高 26

小原佳子	10	
一文字正幸	5	
木村憲夫	2	
大原宏司	5	
平野弘道	1	
馬瀬美由紀	10	
木村　恵	2	
坂爪邦雄	10	
宮本晴美	2	
石田伸枝	5	
大野幸宏	10	
河村裕志	5	
臼田典子	終	
佐々幸子	5	
園田真理子	5	

高 27

飯田良弘	5	
久下　亨	終	
大久保高秀	3	
小野敬子	3	
北村純子	1	
熊木健次	3	
関根俊一	5	
渡辺真有美	1	
熊木維津子	3	
印南明彦	1	
川合規之	終	
松浦嗣人	2	
小原沢啓子	5	
末永幸子	3	

高 28

安藤雅生		3	
中野栄一	5		
平井　優	3		
中村喜江	1		
志村　勇	5		
根立隆一	5		
永井直子	1		
尾崎久美子	終	1	
飯塚敏之	5		
桑田尚志	3		
山田嘉彰	終		
石井園子	3		
津浦たか子	3		
水野淑子	1		
松岡桂子	2		
内島寛之	10		
清水義裕		2	
鈴木　亮	2		
野田広志	3		
藤井由美子	5		

高 29

加藤健次	1	
山下　至	5	
山本耕三	5	
吉岡幹夫	1	
垣花千春	1	
田村信彦	1	
百田　浩	5	
倉橋節也	3	
野口起正	5	
片江康雄	1	
国頭博行	3	
谷嶋牧夫	2	
高橋智子	2	
米山　徹	1	
蟹江慶子	2	
関根明子	5	
正木裕美	5	
田辺敬子	1	
長谷川政光	1	
松崎義隆	3	
長谷川祥子	2	
大久保靖	1	
大久保小舟	1	
今村千恵	5	
杉山正樹	1	
村井公樹	5	
尾首容子	1	

高 30

柄脇弘人	20	
大坪由佳		1
角田　誠	1	
松井久二雄	5	
原久美子	10	
高島　朗	1	
竹内智子	2	
横山はるみ	3	
船津　毅	1	
大島寛治	3	
佐藤誠二	3	
梅林美江	1	
河地尚之	1	
佐藤薫子	終	
鷹田　均	5	
横川雅之	10	
小山昭子	5	

高 31

足立　誠	1	
尾崎　一	1	
木島相子	10	
松田美知代	1	
菊地貞志	7	
作間英明	3	
渡辺一美	5	
高瀬浩和	3	
竹中文子	1	
清水孝子	終	
田中孝子	終	1
矢崎千枝		1
新井鏡子	1	
玉虫葉子	1	
和藤真由子	5	
高橋大輔	1	
斉ノ内みずほ	5	
長谷川ひろみ	1	
小澤博子	10	

高 32

佐々木道人	2	
大川　洋	1	
高崎聖一	5	
井上敬夫	終	
仲沢浩一		3
大原　博	5	
永良高二	10	
青木てる江	5	
石井直美	2	
阪倉亜矢子	5	
武田雅雄	1	
久池井幸子	1	
西原恵子	5	
三海裕子	5	

高 33

小川京子	2	
荒井真弓	5	
練馬　洋	1	
数見佳子	1	
山崎　緑	5	
堀田正俊	1	
鈴木裕美	10	
内田雄三	3	
森谷　誠	3	
小原智子	1	

高 34

浦野純司	1	
加藤伸彦	2	
木村智寿	1	
日笠浩美	3	
大浦高之	終	
望月佐知子	5	
永井昌史	10	
本橋恵美子	3	
十時美智子	2	
菊池　良	5	
香東久美子	5	

高 35

瀬谷賢一	3	
馬場靖代	1	
鈴木啓順	1	1
伊藤尚美	5	
辻えり子	10	
矢口智美	1	

高 36

谷口浩之	5	
関矢真理子	1	
本橋淳子	終	10
織間はるみ	1	
中原　宏	5	
平田勝裕	3	2

高 37

高木文夫	終	
栗原千春	3	
依田尚子	3	
鈴木憲二	10	
玉置好徳	終	
梶木淳子	3	

高 38

伊藤京子	3	
池田孝子	10	
西沢寛能	5	
森谷　修	1	
坂田光平	5	
井口　努	3	
神原　翼	3	

高 39

池内玲子	10	10
貝瀬都武	10	
毛利伸介	終	
村岡頼憲	1	

高 40

千田恭子	10	
溝口育子	3	
足立健一郎	5	
樋口葉子	10	
阿部律子	1	
松成以知子	3	
中村　悟	1	
竹下太朗	3	
後藤辰男	5	
山村　哲	2	

高 42

田中　貴	3	
井上理香	1	
進藤照久	1	

氏名	会費	寄付
尾田一郎	2	
保科昌彦	3	
山本勝治	5	

高 43

重岡　希	1	
本間寛之	1	
本間ルノワ	1	

高 44

清水　希	5	
中津留勉	1	2
土田久美子	2	

高 45

山本　彩	5	
藤井郁子	28	
田村亮世	4	
伊藤涼子	10	
木戸貴光	3	
芳賀章浩	1	
星野綏美	2	

高 46

前田将多	3	
稲田洋子	10	
前田由里香	5	

高 47

辻川浩史	1	
関口雄一郎	5	
大林岳史	3	
小林弘明	1	
芳賀祥浩	1	
平野俊也	1	

高 48

大野太郎	1	
田原謙一	5	
中村咲子	2	
杉山　学	5	
竹村菜津子	1	

高 49

増子憲太郎	1	
大澤誠一	1	
三木直美	終	
白井里奈	5	

高 51

今泉吉晴	2	

高 56

加藤真理奈	1	

高 60

鎌谷彩由美	5	
織田和優	1	

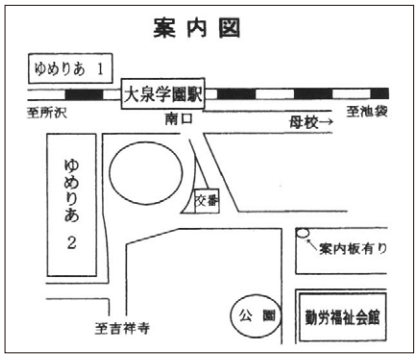
10月26日(日) いずみ会総会・懇親会のご案内

舞台は地球 “それぞれの地球の歩き方”

今回は、「舞台は地球！」と題して卒業生それぞれの地球の歩き方について、貴重な映像をご覧いただき、皆様と語らいたいと思います。「新８の会」が懇親会の企画運営を担当します。

と　き　2008年10月26日（日）
ところ　定時総会：母校円形校舎１階
　　13時30分～15時00分（受付開始13時から）
　懇 親 会：練馬区立勤労福祉会館
　　15時30分～17時30分
会　費　3,000円（ただし55～60期は1,000円）

ご出欠（その他ご連絡）は同封のはがきで10月15日までにご返送ください。



いずみ会会長　早川　淳（高13期）
新８の会会長　片山　隆（高８期）

期幹事の皆様、お手伝いします

①校歌、交友の歌のテープをお貸しします。
②名札ケースをお貸しします。
③Webページに同期会等の案内を掲載します。
④いずみ会会報に各期が制作したA4判のチラシを無料で同封します。
⑤会員名簿の住所シールを差し上げます。
総務・企画部長　國谷俊之（高14期）

いずみ会室をご利用ください

申し込みの詳細は、Webページをご覧ください。
担当：理事・村井和朗（高６期）
TEL/FAX：03－3922－8888

いずみ会文庫
―あなたの本を母校に寄贈して下さい―

①あなたの本を母校にご寄付ください。
自署、共著、雑誌類、講義用の教科書、エッセー、体験記、写真集など。
②卒業アルバムを寄贈してください。期によっては歯抜けになっています。
担当：幹事・市川啓二（高13期）
〒176-0005　練馬区旭丘１－48－４
TEL/FAX：03－3950－3705

各期評議員確認のお願い

評議員会はいずみ会の唯一つの議決機関です。現在は約700名の評議員が登録されていますが、半数近くの期の評議員との連絡がとれません。各期におかれましては評議員の確認をお願いいたします。

事務局幹事募集のお知らせ

従来の業務が大幅に増えた事と、更なるサービス向上を図りたいので、多くの皆様のご助力・ご参加をお願いします。
①情報システム担当
パソコンを活用したいずみ会全体のシステムの構築、運営
②ホームページ担当
ホームページ（Webページ）の編集や掲載作業
③広報担当
「会報・いずみ」の編集、PR活動
④人材バンク関連
１）学校支援。登録者の運営担当
２）サークル活動支援担当
総務・企画部長　國谷俊之（高14期）
事務局長・大髙光蔵（高13期）

人材バンク登録のおねがい

母校では来年３月から、キャリア教育のための講師をいずみ会に求めています。どのようなジャンル・職種でも登録可能です。ぜひ皆様のご登録をお待ちしています。

Webページ 担当からのお知らせ

• 会報のバックナンバーの掲載変更
会報のバックナンバーの14号～22号をWebに掲載を予定しています。サーバーの容量の関係で34号～46号は削除（23号～33号は欠番）します。但し、いずみ会室にはCD-ROMの形で保管していますので、いつでも貸し出しは可能です。
• イベント情報の掲載
会員の皆様の活動の内、絵画等の展示会、演劇／演奏活動等の情報を掲載いたしますので、チラシ等内容のわかるものをお送りください。掲載の可否を検討させていただきます。詳細は相談させていただきますので、先ずはご連絡ください。
• Webページ担当者が替わります
この会報がお手元に届く頃には担当が交替します。
新たな担当者は
中江和夫（高17期）
nakae@abcm.co.jp
です。どうぞよろしく。

いずみ会連絡窓口

ご意見やご感想、住所変更などは下記へご連絡をお願いします。
〒178-0063　練馬区東大泉６－34－30
SKビル305号
e-Mail：izumikai@v7.com
FAX ：03－3925－1486
総務・企画部長　國谷俊之（高14期）

編集後記

☆今号は構成上の一部を除いて少し活字を大きくしてお届けします。★取材のため数十年ぶりに母校グラウンドに立ちました。瞬間、高校生の自分が 甦ったような不思議な感動を覚えました。たまにはスニーカーを履いて、母校を訪ね、それぞれ部活に熱中する生徒たちの姿に自分を重ねてみるのもいいかな？ 何故かワクワクします。総会は絶好の機会です。ぜひお運び下さい!!
（荒井真理子・高20期）